

# 令和6年1月～3月「保健体育時事問題」

※日付は、実際の出来事があった日と前後することがあります。出題範囲として指定された日付の前後の問題もチェックしておきましょう。

月日	時事問題	解答
1/3	第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（【①】）は3日、神奈川・芦ノ湖から東京・大手町までの復路（5区間、109・6キロ）があり、【②】大が総合10時間41分25秒の大会新記録で2年ぶり7度目の優勝を果たした。2位は【③】大で、史上初となる2年連続の学生3大駅伝3冠はならなかった。	①箱根駅伝 ②青山学院 ③駒沢
1/8	サッカーの第102回全国高校選手権は、東京【①】で決勝があり、【②】高校が、近江高校（滋賀）に3－1で勝ち、2大会ぶり4度目の優勝を果たした。	①国立競技場 ②青森山田
1/9	サッカーのJ1ジュビロ磐田は、元日本代表MF【①】の現役引退を発表した。J1通算【②】試合、日本代表通算【③】試合出場はいずれも歴代最多。ガンバ大阪のトップチームコーチに就任する。	①遠藤保仁 ②672 ③152
1/13	ラグビーの第60回全国大学選手権は13日、東京・国立競技場で決勝があり、関東対抗戦1位の【①】大が同2位の明大を34－15で下し、3大会連続【②】度目の優勝を果たした。	①帝京 ②12
1/28	大相撲【①】場所は、東京・国技館で千秋楽があり、横綱【②】（伊勢ヶ濱部屋）が2023年夏場所以来となる、9度目の優勝を果たした。	①初（はつ） ②照ノ富士（てるのふじ）
2/8	2026年ミラノ【①】冬季五輪・パラリンピック組織委員会は、オコジョ（イタチの仲間）をイメージした大会マスコットを発表した。白い五輪マスコットは①にちなんで「【②】」、茶色のパラのマスコットはミラノにちなんで「【③】」と命名した。 	①コルティナダンペッツォ ②ティナ ③ミロ
2/9	日本高校野球連盟は【④】を見直し、今年から投球動作の途中で上げた足を上下するなどの「【②】」に関する反則規則を削除した。プロ野球では国際基準に合わせて2018年から反則としなくなっていた。	①高校野球特別規則 ②2段モーション
2/12	バスケットボール女子日本代表（世界ランキング9位）は、ハンガリーで行われた【①】五輪世界最終予選の第3戦でカナダ（世界ランキング5位）を破り、3大会連続となる五輪出場権を獲得した。男女そろっての五輪出場は、自国開催だった2021年東京五輪を除くと、1976年【②】五輪以来48年ぶり。	①パリ ②モントリオール
2/26	卓球の世界選手権団体戦、日本女子（世界ランキング【①】位）は中国（同1位）との決勝で、エース【②】、平野美宇が勝利。53年ぶりの世界一まであと1歩と迫ったが、2－3で敗れ、【③】大会連続の銀メダルとなった。	①2 ②早田ひな ③5
2/28	サッカー女子のパリ五輪アジア最終予選は、東京・国立競技場で世界ランク8位の日本（【①】）が同9位の【②】に2－1で勝利した。日本は2大会連続の五輪出場を決めた。	①なでしこジャパン ②北朝鮮
3/24	大相撲春場所で、新入幕の前頭17枚目【①】が、110年ぶりの「新入幕V」を達成した。①は初土俵（22年秋場所）から所要【②】場所目での初優勝を果たし、優勝制度ができた1909年（明治42年）夏以降「史上最速」となる大記録も打ち立てた。	①尊富士（たけるふじ） ②10
3/31	第96回選抜高校野球大会は、兵庫県西宮市の【①】球場で決勝があり、【②】高校（群馬）が報徳学園高校（兵庫）を3－2で破り、初優勝した。群馬県勢としても春の頂点は初めて。	①阪神甲子園 ②健大高崎（高崎健康福祉大学高崎）

月日	時事問題	解答
4/11	<p>外国出身力士で初めて大相撲の横綱に昇進し、引退後は格闘家に転身したアメリカ・ハワイ州出身の【①】氏が、心不全のため死去した。54歳だった。</p> <p>①氏は、1988年（昭和63年）春場所で、後に横綱となる【②】、【③】（当時は若花田、貴花田）兄弟らと初土俵を踏み、第64代横綱に昇進した。幕内優勝は11回。</p>	<p>①曙太郎（あけぼのたろう）</p> <p>②若乃花（わかのはな）</p> <p>③貴乃花（たかのはな）</p>
5/18	<p>米【①】市議会は17日、大リーグのドジャースに在籍し、米スポーツ史上最高額となる10年総額7億ドル（約1100億円）の契約を結んだ大谷翔平選手の背番号「【②】」にちなみ、5月17日を「【③】の日」とすることを決めた。MLB（大リーグ機構）によると、「③の日」は大谷選手がドジャースに在籍する限り続く。</p>	<p>①ロサンゼルス</p> <p>②17</p> <p>③大谷翔平</p>
5/24	<p>日本のプロ野球、巨人（読売ジャイアンツ）の【①】投手が、甲子園球場で行われた阪神戦で【②】を達成した。</p> <p>プロ野球でのノーヒットノーランは、当時オリックスの山本由伸（やまもとよしのぶ）投手が去年9月9日に達成して以来、史上【③】人目、101回目で、今シーズンでは初めてとなる。</p>	<p>①戸郷翔征（とごうしょうせい）</p> <p>②ノーヒットノーラン</p> <p>③89</p>
5/26	<p>両国国技館で行われた大相撲夏場所の千秋楽（＝最終日）で、新小結・【①】が、関脇・阿炎（あび）を押し出しで下し、12勝3敗で初優勝を果たした。初土俵から【②】場所目の優勝は、幕下付け出しでは横綱・【③】の15場所を大きく塗り替える“史上最速V”の快挙となった。</p>	<p>①大の里（おおのさと）</p> <p>②7</p> <p>③輪島（わじま）</p>
6/7	<p>プロ野球・広島東洋カープの【①】投手が、マツダスタジアムでの千葉ロッテマリーンズ戦で、史上【②】人目、通算102度目となる無安打無得点試合（【③】）を達成した。今年5月24日に読売ジャイアンツ（巨人）の戸郷翔征が甲子園球場での阪神タイガース戦で達成して以来。</p>	<p>①大瀬良大地（おおせらだいち）</p> <p>②90</p> <p>③ノーヒットノーラン</p>